

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月14日
【四半期会計期間】	第120期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	リゾートソリューション株式会社
【英訳名】	RESORT SOLUTION Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 多賀 道正
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
【電話番号】	03(3344)8811(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 星野 幸男
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
【電話番号】	03(3344)8811(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 星野 幸男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第119期 第1四半期連結 累計期間	第120期 第1四半期連結 累計期間	第119期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	4,074,408	5,208,703	17,992,385
経常利益又は経常損失() (千円)	274,753	27,052	504,684
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (千円)	167,609	59,931	492,381
四半期包括利益又は包括利益(千円)	166,892	62,444	521,261
純資産額(千円)	8,221,239	8,845,976	8,952,200
総資産額(千円)	28,411,071	30,424,009	30,752,239
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額() (円)	3.02	1.08	8.86
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.8	28.8	28.8

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 第119期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在していないため記載しておりません。また、第120期第1四半期連結累計期間及び第119期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として個人消費や生産活動において緩やかな回復傾向にあるものの、欧州を中心とした金融不安や電力供給に対する懸念等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業であるゴルフ場・ホテル等のリゾート業界におきましても、個人所得の伸び悩みや雇用不安による個人消費の停滞などにより、依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループでは、「顧客満足度の向上」を目指して、サービス品質の見直しと改善に注力するとともに、お客様に選んでいただける商品企画を推進し、各種会員への商品やメニュー情報の発信を強化してまいりました。

ゴルフ運営事業におきましては、良好なコースコンディションを維持するための「オールシーズンハイクオリティ」を徹底するとともに、3世代で一緒にゴルフを楽しむ「三世代ゴルフ」を推進するなど幅広い顧客層に向けたサービスの充実と集客の拡大に努めました。

また、昨年より運営を開始した6ヶ所のゴルフ場は順調に推移するなど業容の拡大を図りました。

ホテル運営事業におきましては、会員向けサービスや情報発信の強化を図るとともに、昨年10月にオープンした「ホテルリソル博多」は福岡市中洲地区の中心という立地に加え、充実した設備を完備し、ビジネス、観光両方のお客様から人気を博しており、引き続き好調な稼働率を維持しております。

開発事業におきましては、ゴルフ場、ホテル及び旅館の再生を図るとともに、ゴルフ場の保有資産を活用した新たな商品の開発・販売に注力いたしました。

福利厚生事業におきましては、主力商品である「ライフサポート倶楽部」の会員メンバー向けの各種プランを充実するとともに、企業の細やかなニーズに対応したプランを提供するなど、サービス向上と拡大に努めました。

リゾート事業におきましては、ゴルフ・リゾート会員権の仲介事業は流通相場の低迷が続き、弱含みで推移する中、リゾート不動産における保養所ビジネスを推進するなど、企業ニーズへの対応やサービスの拡大に努めました。

当第1四半期連結累計期間は、運営事業における昨年より運営を開始したゴルフ場やホテルの収益の取込み、ビジネス需要や個人消費の緩やかな回復により、売上高は5,208百万円（前年同期比27.8%増）、経常利益は27百万円（前年同期は経常損失274百万円）、四半期純利益59百万円（前年同期は四半期純損失167百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて328百万円減少し、30,424百万円となりました。これは主に売掛金の減少等によるものであります。負債につきましては、21,578百万円となり、前連結会計年度末に比べて222百万円減少しております。これは主に、長期預り金及び預り保証金の減少等があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績について著しい変動はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数 (株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年8月14日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	55,642,000	55,642,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	55,642,000	55,642,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	55,642	-	3,948,088	-	1,759,974

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 83,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,419,000	55,419	-
単元未満株式	普通株式 140,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,642,000	-	-
総株主の議決権	-	55,419	-

(注)1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式367株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
リゾートソリューション株式会社	東京都新宿区西新宿6丁目24-1	83,000	-	83,000	0.1
計	-	83,000	-	83,000	0.1

2 【役員の状況】

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	経営企画部長兼 顧客品質管理室長兼 広報室長	取締役	経営企画部長兼 顧客品質管理室長	仮屋 毅	平成24年7月19日
取締役	管理部長兼 F・D部担当	取締役	管理部長兼 総務部長兼 広報室長兼 コンプライアンス室長兼 渉外部長兼 秘書室長兼 施設安全担当	星野 幸男	平成24年7月19日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,266,582	2,405,648
売掛金(純額)	1,414,282 ₁	1,154,581 ₁
商品	137,601	172,807
販売用不動産	1,125,367	1,124,131
貯蔵品	132,427	112,834
未収入金(純額)	428,721 ₁	270,314 ₁
その他(純額)	878,000 ₁	1,000,001 ₁
流動資産合計	6,382,985	6,240,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,296,463	5,450,588
土地	5,058,981	5,070,581
その他(純額)	1,019,758	1,016,312
有形固定資産合計	11,375,202	11,537,482
無形固定資産		
のれん	2,035,352	2,002,828
その他	364,798	395,930
無形固定資産合計	2,400,150	2,398,759
投資その他の資産		
投資再生不動産	7,931,120	8,162,709
その他(純額)	2,662,779 ₁	2,084,739 ₁
投資その他の資産合計	10,593,900	10,247,449
固定資産合計	24,369,253	24,183,690
資産合計	30,752,239	30,424,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	740,676	742,897
短期借入金	2,981,500	3,058,600
1年内返済予定の長期借入金	865,750	1,137,000
未払法人税等	149,564	25,863
賞与引当金	83,978	43,603
その他	2,948,769	2,794,057
流動負債合計	7,770,238	7,802,022
固定負債		
長期借入金	4,577,150	4,702,600
長期預り金	442,930	353,712
預り保証金	6,083,154	5,998,634
退職給付引当金	461,289	462,766
従業員特別補償引当金	100,000	54,290
資産除去債務	191,890	192,741
その他	2,173,384	2,011,266
固定負債合計	14,029,800	13,776,010
負債合計	21,800,038	21,578,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,523,487	2,356,811
利益剰余金	2,143,257	2,201,196
自己株式	18,165	18,165
株主資本合計	8,596,667	8,487,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	53
土地再評価差額金	272,948	272,948
その他の包括利益累計額合計	272,908	272,894
少数株主持分	82,624	85,150
純資産合計	8,952,200	8,845,976
負債純資産合計	30,752,239	30,424,009

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	4,074,408	5,208,703
売上原価	2,160,824	2,482,462
売上総利益	1,913,584	2,726,241
販売費及び一般管理費	2,182,861	2,679,151
営業利益又は営業損失 ()	269,276	47,089
営業外収益		
受取利息	3,966	1,826
投資事業組合等利益	3,227	2,709
債務消却益	7,476	9,119
投資再生不動産売却益	5,406	10,875
その他	10,991	12,009
営業外収益合計	31,068	36,540
営業外費用		
支払利息	34,634	50,783
その他	1,911	5,793
営業外費用合計	36,545	56,577
経常利益又は経常損失 ()	274,753	27,052
特別利益		
営業補償金	-	39,800
特別利益合計	-	39,800
特別損失		
事業所整理損	-	520
従業員特別補償金	8,026	-
その他	1,050	-
特別損失合計	9,076	520
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	283,830	66,333
法人税、住民税及び事業税	25,653	18,830
法人税等調整額	142,596	14,955
法人税等合計	116,942	3,874
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	166,887	62,458
少数株主利益	721	2,526
四半期純利益又は四半期純損失 ()	167,609	59,931

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	166,887	62,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	13
その他の包括利益合計	4	13
四半期包括利益	166,892	62,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,613	59,918
少数株主に係る四半期包括利益	721	2,526

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当社グループは、ホテル、ゴルフの運営マネジメント会社の組織再編に伴い、連結の範囲について連結財務諸表に及ぼす影響を勘案し見直しを行なった結果、当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表における重要性が増したため、(株)ジェイジー久慈、リソルホテルマネジメント西日本(株)(旧佐世保ホテルマネジメント(株))及びリソルゴルフマネジメント西日本(株)(旧リソルフードマネジメント(株))を連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

該当事項はありません。

【会計上の見積りの変更】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
(自平成24年4月1日至24年6月30日)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 貸倒引当金直接控除額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
流動資産	34,457千円	32,508千円
投資その他の資産	251,542	256,958
計	285,999	289,466

2. 保証債務

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
会員権購入者のためのローンに対する保証債務	149千円	105千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	139,512千円	177,673千円
のれんの償却額	23,163	32,523

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月11日 取締役会	普通株式	166,684	3.0	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	166,675	3.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金 及び資本剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	ゴルフ運営事業 (千円)	ホテル運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,708,936	1,405,951	1,200	682,488	275,832	4,074,408	-	4,074,408
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,708,936	1,405,951	1,200	682,488	275,832	4,074,408	-	4,074,408
セグメント利益又は損失()	156,851	184,519	1,200	91,093	7,955	109,606	159,670	269,276

(注) . セグメント利益又は損失()の調整額 159,670千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計算書計上額
	ゴルフ運営事業 (千円)	ホテル運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,639,193	1,829,188	-	495,075	245,245	5,208,703	-	5,208,703
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,639,193	1,829,188	-	495,075	245,245	5,208,703	-	5,208,703
セグメント利益又は損失()	388,435	62,933	-	58,908	23,723	242,870	195,780	47,089

(注) . セグメント利益又は損失()の調整額 195,780千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	3円2銭	1円8銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	167,609	59,931
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	167,609	59,931
普通株式の期中平均株式数(千株)	55,561	55,558

- (注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、又、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年5月11日開催の取締役会において、平成24年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 166,675千円
 1株当たりの金額 3円00銭
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年6月29日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月10日

リゾートソリューション株式会社
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤善孝	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	狐塚利光	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	宮崎哲	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリゾートソリューション株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リゾートソリューション株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。